

科目名	専攻科ゼミナール Advanced Seminars	科目コード	A1030
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	電子機械システム工学専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	電子機械システム工学専攻全教員
区分・単位数	必修・2単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義0, 演習0, 実験0, その他30】
教科書	
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

電子機械システム工学分野における特定のテーマについて、指導教員のもとで研究の背景、実験法、解析法、結論の演繹的導出等を学ぶ。

- 関連する科目：電子機械システム工学特別研究Ⅰ（同時履修）、電子機械システム工学特別研究Ⅱ（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 電子機械システム工学分野における特定の研究課題について、指導教員のもとで研究の背景、実験法、解析法、結論の演繹的導出等を身に付ける。	40%	(G1,G2)
② 主として外国文献及び外国書籍を用いて解析力、評価能力、外国語読解力等を身に付ける。	40%	(G2)
③ 文献紹介を課することによって発表能力、論文作成能力を身に付ける。	20%	(G1)

【C. 履修上の注意】

膨大な情報量の中から、自分の研究に関係する文献を自分自身で検索し、有用かどうかの判断ができるようになって欲しい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 学習時間報告書・平常の取り組み（40%）
- 課題レポート（40%）
- 研究室での発表・解説・質疑応答（20%）

【E. 授業計画・内容】

各指導教員に従うこと。

○ 提出物

1. 学習時間報告書

毎月指定期日までに指導教員及び各専攻科委員に1部ずつ提出する。

2. 課題レポート

指定の書式に基づいて作成し、指定された期日までに指導教員に提出する。

分量は、A4 1ページ以上とする。